

# 基本構想から総合戦略へ

令和2年度：有識者会議用\_2020年8月28日時点

---

# 【B】基本構想⇒【C】総合戦略

# 現戦略の検証

---

ふりかえり

1. 現戦略の結果について
2. 現戦略の立案方法について
3. 今後どのように戦略立案・KPIや指標を設定していくとよいか？
4. その他



# 現戦略の検証（PJチーム・策定委員会サマリー）

## ● 策定時

- 本来の目的につながるKPIになっていたか。
- KPIが社会要因などの影響を受けやすいものも含まれていたはないか。
- 民間や地域との情報の共有。
- 連携／共創的な施策や事業になっていなかったことで個別性が高く、本質的成果が得られにくかったのではないか。予算上も、それぞれで計上されることで負担があったのではないか？
- KPI立てる時に、アウトプット（実施したこと）に焦点があたりがち、その結果何になったかというアウトカム（成果）に焦点あたっていなかったのではないか。

## ● 実践時

- 原課担当者にとって受け身になりがちで、創造的な動きになりにくい。
- 実践時、原課だけで行っているため進捗が、見えにくい。

## ● 検証時

- 検証についても、原課任せになってしまっていないか（回答・検証など）？
- 短い期間で検証を繰り返し（毎月の数字把握等）、早めの動きの修正・改善などが必要ではないか？
- 基準値と目標値と実績値⇒達成率の考え方（0%になってしまう）

## ● その他

- 右肩上がりのKPIだけでなく、キープや減少を抑えるものもあってもよいのではないか？
- いきなりできる体制にはならないので、土台作りとトライアルが両方大事ではないか？
- 今後、コロナの影響を考える必要



# 基本構想⇒総合戦略への接着（イメージ案）

- 総合戦略（重点施策）は、現課だけの個別単独な動きではなく、**連携と共創を前提**とする必要がある。
- **実施と検証、改善を繰り返す**ことが大切であり、初動＝結論にならないように、**アップデートし続ける仕組み**がセットとなる必要がある。
- 庁内の連携（共創）だけでなく、庁外の多様な立場の人と**共創**をしながら、**WA!**を創り出す。
- 戦略・戦術・KPIを設定／実行／検証／改善のプロセスにおいて、基本構想で挙げられている「4つのWA!と2つのアプローチ」を扱うことができる**フォーム**があることが望ましい

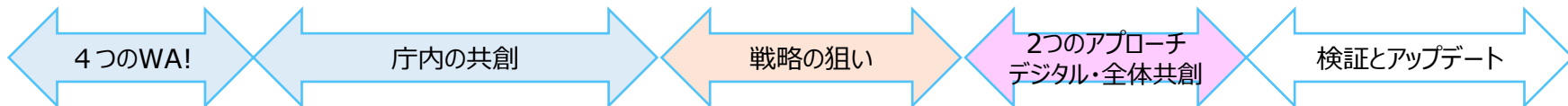


**富良野版「戦略立案・アップデートシート」**

# 基本構想⇒総合戦略への接着（イメージ案）

## 富良野版「戦略立案・アップデートシート」※イメージ案

戦略	4つのWA!と庁内共創				狙い			2つのアプローチ		検証	アップデート	
	WA!	個別テーマ	担当課	リーダー部署	創り出そうとする状態	ターゲット	KPI	デジタル	共創	共創検証日	共創会議日	見直しの方向性
戦略① 「……………」	ひとのWA!	「****」「***」	【A課】【B課】	メイン：C課 サブ：*課				★活用データ ★活用テクノロジー	庁内+ ・***団体 ・***の人 ・***さん ・	2022/10/1	2022/10/15	
	しごとのWA!	「****」	【C課】									
	まちのWA!	「***」	【D課】									
	自然のWA!	-										
戦略② 「……………」	ひとのWA!	「****」	【E課】	メイン：G課 サブ：*課				★活用データ ★活用テクノロジー	庁内+ ・***団体 ・***の人 ・***さん ・**株式会社 ・	2022/10/1		
	しごとのWA!	「****」「***」	【C課】【G課】									
	まちのWA!	「***」「***」	【D課】【F課】									
	自然のWA!	-										
戦略③ 「……………」	ひとのWA!											
	しごとのWA!											
	まちのWA!											
	自然のWA!											
戦略④ 「……………」	ひとのWA!											
	しごとのWA!											
	まちのWA!											
	自然のWA!											





# 総合戦略の重点テーマ候補（案）

担い手

稼ぐ・  
付加価値  
up

関係人口

高齢者・  
福祉

しごと

子育て

医療・  
健康・  
予防

交通

交流人口

教育

インフラ

景観・  
自然

With  
/Post  
コロナ

魅力創出・  
ブランディング

環境・  
エネルギー

コミュニティ

新たな  
豊かさ

# 総合戦略の重点ターゲット候補（案）

30-40代  
子育て世代  
の女性

小・中・  
高校生

20-40代  
男性

リモートワーク  
可能なクリエイティブ人材  
(道外)

60-70代  
アクティブ  
シニア世代

複数回以上  
富良野に来て  
くれている  
顕在ファン

# KPIの新たな指標（案）

人口減少・少子高齢化の時代。  
何が正しいかわからない時代。

新たな「スタイルへの移行」や  
「豊かさの定義」も新たに変わっていく視点も大切。  
客観的指標だけではなく、主観的な感情も見ていく必要。

「こころ」に焦点を当て、「豊かさ・美しさ」を測る  
=  
富良野ならではの住民「幸福度・満足度」の指標づくり

例) 高知県佐川町

★ 総合計画を測る指標  
= 「地域しあわせ風土指標」

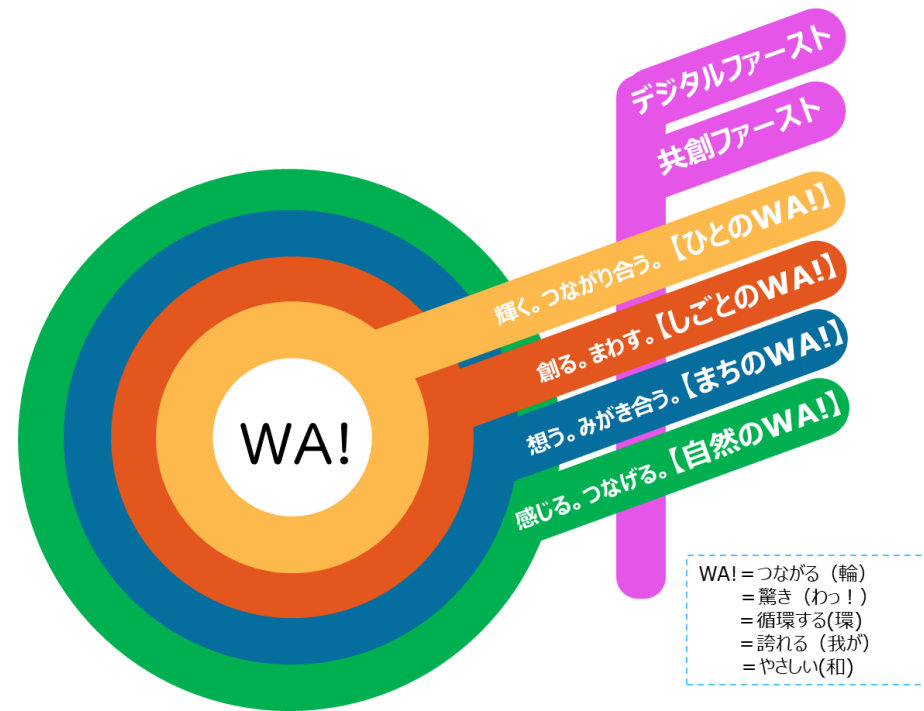
5つの因子  
幸せを感じる主な4つの要因  
= 「自己実現と成長」「つながりと感謝」  
「独立とマイペース」「前向きと楽観」

+  
雇用・経済・防犯・防災などに関連する「安全と安心」



# KPIの新たな指標（案）

「こころ」に焦点を当て、「豊かさ・美しさ」を測る  
=  
富良野ならではの住民「幸福度・満足度」の指標づくり



★指標の案 = 「ふらの・しあわせ指標（仮）」

- ・ひとのWA（輝く／つながり合う）
- ・しごとのWA（創る／まわす）
- ・まちのWA（想う／みがき合う）
- ・自然のWA（感じる／つなげる）

8つの軸をベース  
にした質問を作成

# 2つのアプローチに必要な実践環境（案）

※短期と中長期の視点で、段階的な体制づくりが必要

## デジタル

持続可能なまちづくりに向けて、「データ」や「テクノロジー」の利活用を推進する。

## 共創

複雑な課題に対し、あらゆる枠を越えて「共創」することで、新たな一歩目を創り出す。

組織

外部人材  
活用・登用

仕組・制度  
(運用方法・人事評価等)

経営視点での  
会議

人材育成

研修・  
トレーニング

成功体験

予算

# 今後の予定

# 今後のプロセス（イメージ）：4月～9月

4月～6月

7月

8月

9月

10月～

素材の整理

【A】総合計画策定の「前提」の整理

【B】総合計画「基本構想」原案づくり

【C】総合計画「基本計画」・総合戦略原案づくり

PJチーム



策定委員会

5/21・29

6/22

7/2

7/16-21

8/6

8/20

9/3

9/17



7/22  
合同

8/21

有識者会議

6月上旬

6/30

7/31

8/28

10/1-20

DVD配布：  
辞令、  
現在地の共有

意見交換：  
【A】  
総合計画の前提

意見交換：  
【B】  
基本構想①

意見交換：  
【B】  
基本構想②  
(+ 総合戦略)

庁内個別計画担当者進捗共有会

基本構想  
パブコメ

基本構想・原案づくり

総合戦略原案づくり

# 今後のプロセス（イメージ）：10月～3月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

【B】総合計画「基本構想」原案づくり

【C】総合計画「基本計画」・総合戦略原案づくり

【A】【B】【C】最終デザイン

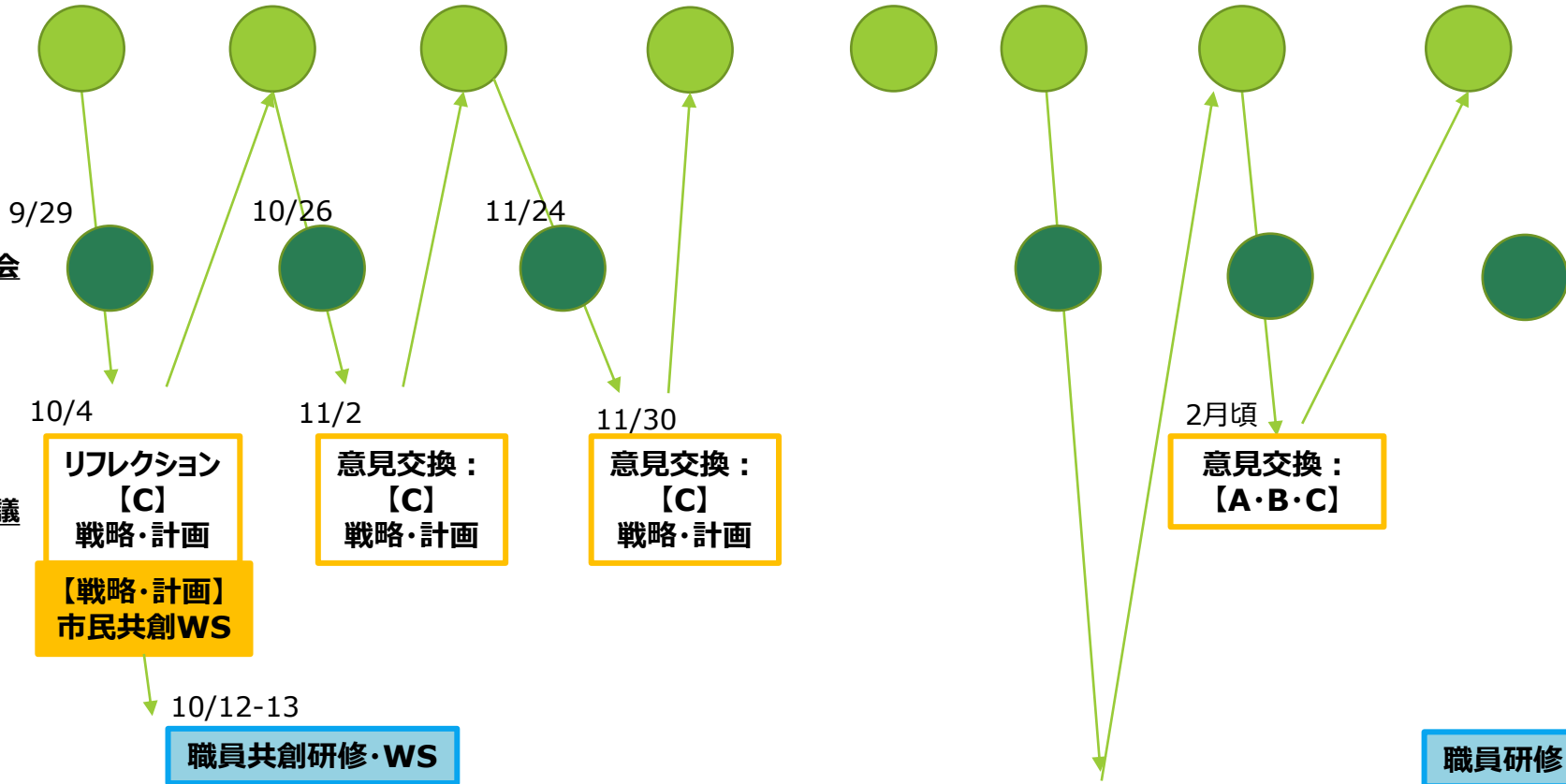
PJチーム

策定委員会

有識者会議

市民

職員



9/29

10/26

11/24

10/4

11/2

11/30

2月頃

リフレクション  
【C】  
戦略・計画

意見交換：  
【C】  
戦略・計画

意見交換：  
【C】  
戦略・計画

意見交換：  
【A・B・C】

【戦略・計画】  
市民共創WS

10/12-13

職員共創研修・WS

職員研修・WS

総合戦略&基本計画 原案づくり

総合戦略・  
基本計画  
バグコメ

最終デザイン・運用調整



今後に向けて「事前準備」のお願い

# 有識者会議委員の視点から（今後に向けての準備）

それぞれの立場（視座）や視点から・・・具体的にお書きください。

- ① 今後特に重要だと思っていること／力を入れようとしていること（理由・背景）
- ② いろいろ取り組んでいるものの難しさや限界を感じていること
- ③ 効果が出始めていること・兆しがある動き・伸ばしていくとよい動き
- ④ コロナの影響を踏まえて取り組むべきこと（1－2年の短期の視点、長期的に変化していく視点）

4つのWA!を大きくするために・・・

- A) これまで以上に、どのような連携強化が必要か（理由）。
- B) どのような層をターゲットにしていくと良いか（内・外）。それは、どのような効果を狙うためか。
- C) どのような数字を追っていく必要があるか（キーとなる指標を何に置くか）。
- D) 地域経済循環を高めるために必要なこと（具体的に／挙げられるだけ）。
- E) その他（自由記載）